

一材型

JIS JIS A 6916:2000 CM-2 表示認証製品

ロイヤルミックス

#20

セメント系下地調整塗材2種 (粉末樹脂入り一材型)

JIS
認証

◎ 工場で厳重な品質管理のもと
プレミックスをしているため品質が安定

一材型

◎ 材料管理・取り扱いが容易なうえ
施工能率が向上

作業性

◎ コテ塗り作業性を格段にアップ

強度
耐久

◎ 長期にわたって安定した耐久性を実現



JIS A 6916

認証番号

平田工場 TC 02 08 009

京都工場 TC 05 08 013

岡山工場 TC 06 08 016

JIS規定塗り厚※

3~10mm

施工可能塗り厚

0~5mm

※JIS A 6916、CM-2に規定されている塗り厚

日本建築仕上材工業会登録

登録番号

0710049

飛散等級

F☆☆☆☆

区分表示

問合せ先

<http://www.nsk-web.org/>



株式会社 豊運

ひび割れ及びはがれがないこと

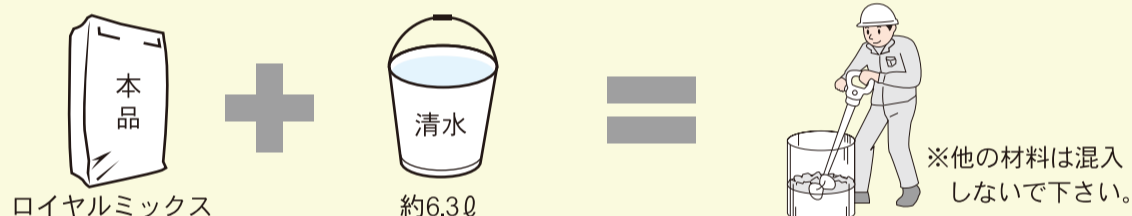
付着強さが0.6以上であること

標準施工方法

下地処理

1. 下地をよく点検して下地コンクリート面のレイタンス、埃、塵、油分を取り除き十分清掃して下さい。尚、塗装合板にて型枠を施工された場合は脱型後、塗装材などが壁面に残着していると剥離などの原因になりますので高圧洗浄機などによる清掃を推奨致します。又、高強度コンクリート下地につきましても、高圧洗浄をお勧め致します。
2. 下地清掃後、「シーラーN #45」3倍液を塗布してシーラー処理をして下さい。
3. ジャンカ、豆板、コールドジョイント部は、あらかじめ「シーラー#45」5倍液で混練りした「ロイヤルミックス#30・#200・#300」で、塗り付け補修して下さい。

混練り



塗り付け

1. あらかじめ下地処理した施工面に、必ず「しごき塗り」をコテ圧をかけて下地に約1~2mm程度すり込むように塗り付けを行ない、ワンテンポ間を空け、少し締まらせてから所定の厚さに塗り付けて下さい。
※ 尚、塗り厚が薄い場合でも「しごき塗り」はモルタルのエア膨らみや浮き防止、ダレの抑制になり付着強度の確保の為に必ず励行して下さい。
2. 水引具合を見計らい、平滑に仕上げして下さい。
※ 1回に塗り付けを行なう厚みは5mmを限度とし、それ以上の場合は、「ロイヤルミックス#30」をご使用下さい。
※ 乾燥の激しい場合は、夏期施工翌日・冬期2日以後に散水養生を行って下さい。

養生

1. 寒冷期には適切な保温対策を講じ、気温低下による凍害を避け十分な養生を行って下さい。
2. 冬期、気温が3℃以下の場合は施工しないで下さい。
3. 夏期に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するためシート等で覆うなど適切な対策を講じて下さい。
4. 夏期、気温が35℃以上の場合は施工しないで下さい。
5. 仕上塗材を施工するまでの養生期間は、通常約2週間以上を目安として下さい。

基づいており、実際の現場での結果を
確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。